

笑顔あふれる1年になりますように！



※写真は、備中デイサービスセンターで干支の絵馬を作成している様子

新年のごあいさつ…2頁

賛助会員会費・各種表彰…3頁

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金等…4～5頁

ふれあいサロンリーダー研修会…6頁

私の町のふくし人 Vol.21…7頁

地域福祉活動報告…8頁

お知らせ…9～10頁

寄附者一覧…11～12頁

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆さま方には輝かしい新春をお迎えるのことに心よりお慶び申し上げます。また、昨年は本会の諸事業に對しまして、深いご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、本市を取り巻く状況は、人口減少に加え高齢者のみの世帯が増加し、安心・安全な地域づくりにかかる課題が数多く顕在化してきています。このような背景から、国では、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりが求められており、より一層社協活動に期待が寄せられています。

本会では、これまでの活動の成果や地域福祉課題を整理し、地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進するため、令和元年度から令和5年度の5か年計画である「第2次地域福祉活動計画」を策定し、『みんな

つくるいきいきと暮らせる愛のまちたかはし』の実現に向け、各種事業に取り組んでいます。

特に災害対応については、一昨年、本市にも甚大な被害をもたらした西日本豪雨災害の際に初めて立ち上げた「高梁市災害ボランティアセンター」の運営での反省を生かし、本市の状況にあった仕組みづくりを行うとともに、ボランティアを育成し、災害に強い地域づくりに努めてまいります。

また、社会的孤立や貧困などを背景とする複雑な生活課題への支援体制を強化するため、本年度から新たに「相談支援課」を創設しております。引き続き、あらゆる関係機関と密に連携を図りながら、相談支援体制の充実強化を図ってまいります。

さらには、市民の皆さまが住み慣れた地域で心豊かな生活を送ることができるよう、各地区社会福祉協議

会と協議を重ね、創意工夫による地域の実状にあった取り組みを推進してまいります。

誰でも誰かとのつながりを感じる事ができる暖かい地域を作っていくため、役職員一丸となり地域福祉推進の役割をしっかりと担ってまいりますので、皆さまのより一層の力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆さまにとりまして、健やかで希望あふれる素晴らしい年になりますよう、心から祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。



社会福祉法人
高梁市社会福祉協議会
会長 内田 親秀

令和元年度 賛助会員会費にご協力いただいた法人・ふるさと会員

10月16日から12月15日までの受付分を掲載しております。ご協力ありがとうございました。(順不同、敬称略)

◆法人会員

(高梁地区)
 有限会社 神尾洋品店
 株式会社 田中紙店
 株式会社 樋口運輸 高梁営業所
 合資会社 樋口商店
 備北林産用品株式会社
 有限会社 水野組

(成羽地区)

加藤電器店
 白菊商事株式会社
 住友電工焼結合金株式会社
 渡辺歯科医院
 (市外)

◆ふるさと会員

(高梁地区)
 総社市 西 賢
 岡山市 平木 力
 兵庫県 堀 泉

令和元年度 賛助会員会費について

市内外の方々へご協力をお願いしております。令和元年度の賛助会員会費について、多くの皆さまからご理解ご協力を賜わり、ありがとうございます。

この会費は「ふれあいサロン事業」や「敬老事業」などの地域福祉活動を推進していく上で、欠かせない貴重な財源となっております。

引き続き、賛助会員を募っておりますので、会員制度の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年度 賛助会員 協力の状況

(令和元年11月30日現在)

会員区分	件数	金額 (円)
普通会員	6,529	6,794,000
法人会員	297	957,000
ふるさと会員	97	330,000
特別会員	8	40,000
合計	6,931	8,121,000

受賞おめでとうございます



富士田 肇さん
(元高梁市老人クラブ連合会副会長)

全国老人クラブ連合会会長表彰

この度、思いがけず受賞の栄を賜り、誠にありがとうございました。これもひとえに多くの会員の方々、地域の方々のご支援のおかげであると、深く感謝いたします。

高齢化と言われ数十年経ちますが、健康保持、生きがいづくり、地域の助け合いが大切であることを身に染みて感じています。

これからも、市や市社会福祉協議会等が取り組む高齢者福祉施策などに協力し、微力ながら地域社会に貢献してまいりたいと思っています。



田中猪三郎さん
(高梁市共同募金委員理事)

中央共同募金会会長表彰

全国社会福祉大会において、共同募金運動に著しく貢献した奉仕者に贈られる標記表彰を受賞されました。

田中さまは、平成12年に民生委員児童委員に就任されて以来、街頭募金や共同募金の広報活動に積極的に取り組んでいただくとともに、平成13年からは共同募金委員会の理事としてもご活躍いただいたところですが、昨年8月25日にご逝去されました。生前のご活躍に対し、心から感謝申し上げますと共にご冥福をお祈り申し上げます。



住吉悦子さん
(本市社協 介護保険課)

全国社会福祉協議会会長表彰

この度、全国社会福祉協議会会長表彰という荣誉ある賞をいただき、ありがとうございました。

平成4年から今まで、たくさんの人に出会い、多くのことを教わり、さまざまな経験をさせていただきました。

これまで、介護の現場で働くことができたのも、皆さまのおかげだと感謝しております。

これからも、福祉関係者のひとりとして、微力ながら支援を必要とする方々の安心・安全な生活を支えていけたらと思います。



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただきありがとうございました

本年度も、“赤い羽根共同募金”ならびに“歳末たすけあい募金”に皆さまの温かいお心をお寄せいただきありがとうございました。

今月号では、令和元年12月20日現在の途中経過をご報告させていただきます。なお、令和元年度の最終実績については、次号でご報告させていただきます。

赤い羽根共同募金	
募金区分	募金額(円)
戸別募金	2,903,100
街頭募金	80,714
法人募金	523,200
学校募金	9,690
職域募金	598,845
イベント募金	157,634
個人募金	7,401
その他の募金	147,764
合計	4,428,348

歳末たすけあい募金	
募金区分	募金額(円)
戸別募金	1,628,530
個人募金	9,819
その他の募金	71,829
合計	1,710,178



川上中学校生徒会の皆さん

12月16日、川上中学校生徒会より、赤い羽根共同募金が寄せられました。この募金は生徒会の皆さんの呼びかけで、朝の読書をする時間を活用し、各クラスに募金箱を設置して集められたものです。ご協力ありがとうございました。



令和元年度 赤い羽根共同募金法人募金にご協力いただいた法人

10月29日から12月20日までの受付分を掲載しております。ご協力ありがとうございました。(順不同、敬称略)

(高梁地区)

有限会社 秋岡商店
 イースタジオ
 有限会社 イシイ
 株式会社 エポック
 SR Body
 株式会社 大月本店
 有限会社 川上商店
 株式会社 吉備ケーブルテレビ
 医療法人梁風会こころの医療たいうの丘ホスピタル
 有限会社 小阪商店
 ザグザグ落合店
 島自動車有限会社
 住まいるネット高梁落合橋店
 有限会社 須山商店
 株式会社 総合技術サービス
 株式会社 タイガーマシン製作所
 高梁運輸株式会社

株式会社 高梁マイカーセンター
 滝口建設工業株式会社
 トークロ
 仲田医院
 ナカヤマ建設株式会社
 有限会社 成羽砂利
 縄手商事株式会社
 西森電気
 日軽形材株式会社岡山工場
 花のれん
 備中開発株式会社
 株式会社 備北オートセンター
 株式会社 備北産業
 平松電業株式会社
 HAIr-MAKE ripple
 ヘアメイクスタジオ YOU
 堀金属表面処理工業株式会社岡山工場
 有限会社 三宅工務店

モランボン
 有限会社 森十自動車工作所
 有限会社 森田商店
 有限会社 ワタナベトヨー住器
(有漢地区)

有限会社 島田建設
 有限会社 千崎建設
(成羽地区)

成羽川生コン株式会社
 渡辺歯科医院
(川上地区)

株式会社 池田本店
 川上工業株式会社
(備中地区)

アグリテクノ矢崎株式会社備中工場
 朝日堂



令和2年度 一般募金助成事業の助成団体を募集します

高梁市社会福祉協議会では、共同募金の財源を幅広く有効に活用し、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進するため、助成を希望する団体を募集します。

助成対象団体

次の要件をすべて満たす団体

- (1) 高梁市内を活動範囲として福祉活動、ボランティア活動を行う団体
- (2) 原則1年以上の継続した活動が見込めること。
- (3) 団体の運営が市民を主体とした組織で、自主性および自立性を有すること。
- (4) 団体の規約、活動内容および会計に関する決定機関を有する団体で、事業計画が明示され、予算・決算等の会計状況が明らかであること。
- (5) 法人格を有していないこと。
- (6) 政治または宗教、営利活動を目的としない団体

助成対象活動

令和2年度において、地域性を活かした日常生活の支援、福祉学習、世代間交流、児童青少年・ボランティア育成等の地域住民自らが取り組む事業で、介護保険制度の事業対象とならないもの。

助成金額

1団体あたり20万円以内とする。

助成金対象外経費

報酬、人件費、飲食費、備品、機材に関する費用等

申請期間

令和2年2月1日～令和2年3月31日まで

※申請書は社協事務所へ備えていますが、市社協ホームページからもダウンロードできます。

詳細については、下記まで気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先

相談支援課 ☎22-7243	川上支所 ☎48-9770
有漢支所 ☎57-3218	備中支所 ☎45-3131
成羽支所 ☎42-2005	



12/6 高梁市仏教会・托鉢で歳末たすけあい募金に協力

高梁市仏教会(会長 龍徳院西川高史住職)から、毎年托鉢で歳末たすけあい募金の協力をいただいています。今年も多くの方々が市街地を巡り托鉢を実施され、多くの浄財が寄せられました。

この浄財は、高梁市共同募金委員会に寄贈され、在宅で介護が必要な方や難病の方への慰問金贈呈など歳末たすけあい事業に活用されています。ご協力ありがとうございました。



ふれあいサロンリーダー研修会

12月13日、高梁総合文化会館レクチャールームにて、あそびの工房もくもく屋の田川雅規氏(大阪府吹田市)を講師に迎え、ふれあいサロンリーダー研修会を開催しました。

研修会に先立ち、市内のふれあいサロン130団体と子育てサロン2団体に、サロンの状況についてアンケート調査を実施しました。その結果、「同じ人しか参加できなくなっている(声かけしても出て来られない)」「後継者が育たない」という課題を多くの団体が抱えていることがわかりました。

それを踏まえ、『拝啓 担い手の皆さま ～代表者さんがホッとするための仕掛け～』というタイトルで、田川氏から今後のサロン活動に役立つ話やレクリエーションの実践がありました。

この日は46団体の代表者が参加し、講師の軽快な語りと参加者同士の交流で、笑いの絶えない楽しく有意義な時間を過ごしました。



道具を使わず、すぐにでもサロンで使える、楽しい遊びを教えてくださいました。



【講師】
あそびの工房もくもく屋
たがわ まさのり
田川 雅規 氏

ふれあいサロンとは「自立支援を促す場」です。おもてなしをしすぎていませんか? サロンを支える皆さんが頑張りすぎず、楽しむことが大切です。その楽しそうな姿が、仲間を増やしたり、後継者につながるきっかけにもなります。

人と会うことがサロン活動です。サロンの会場に出て来られなくても、こちらから会いに行き、声をかけることが見守り活動になります。また、サロンだけでなく普段の生活でも、人と会い、声をかけ、おしゃべりすることは大切なことです。

私の町の
ふくしVOL.
21

ふくしとは、

- ふ ふつう（普段）の
- く 暮らしが
- し 幸せであること。

とされています。

このコーナーでは、そんな福祉のまちづくりのために地域で頑張っておられる方を紹介していきます。



Toshinori Uemori

上森俊典さん

私は、1948年巨瀬町に生まれ育って71歳になりました。そのうち16年間余り、巨瀬地域の福祉活動に参加させていただきました。

まず、巨瀬地区の特徴的な取り組みとして、平成25年から7年間、毎年2月9日を『巨瀬地区防災の日』として、町民全員参加の防災訓練を実施しています。

訓練には、民生委員、福祉委員(町内会長)をはじめ、消防団、青色防犯パトロール隊、各種団体の協力もあり、本年も2月9日に実施を予定しています。

また、巨瀬地区社会福祉協議会では、平成29年4月1日から有償ボランティア『スケッチこせ』を立ち上げ、草刈り、庭木の剪定、お墓掃除等を行っています。利用された方からは、「きれいになった」「ありがとう」「またお願いします」といった言葉をもらいスタッフ24名で頑張っています。

今回、地域住民主体の新たな通いの場を立ち上げるため、岡山県が行っている『通所付き添いサポーター養成講座』を17名が受講し、昨年10月31日～11月28日までの毎週木曜日(計5日間)に試験的に実施しました。

利用者と運営スタッフが一緒に体操をして、昼食を食べておしゃべりの時間を持つことで、自宅への閉じこもりを防止、介護予防につなげることが目的で



す。試行中に行ったアンケートでも「今後も利用したい」との意見が多かったので、給食ボランティアと通所付添いサポーターの追加募集をして、本年4月から開設すべく、準備を進めております。

また、祖母、父、私と3世代にわたり民生委員児童委員を無事に務めさせていただき、ありがとうございます。

これからも、できる限り福祉活動に参加・協力していきたいと思っております。

11/28

人形劇マシユマロの慰問

グループホームさささゆり苑



地元の方5人で活動されている『人形劇マシユマロ』の皆さんが慰問に来てくださいました。

また今年は、ささゆり苑の草刈り作業などにもご協力いただいている『生き活き会』の皆さんもお招きして交流会を行いました。

マシユマロの皆さんは、交流会と聞き、いつもより多くの演目を準備してくださり、人形劇をはじめ、手遊び歌や紙芝居、パネルシアターなど披露してくださいました。

利用者の中には、紙芝居の「まぶたの母」を見て感動し涙を流される方や、「おべんとつばこの歌」の手遊びを覚えようと、たびたびボランティアや職員に聞いている方もおられました。

多くの方と交流し、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

12/9

消防訓練を実施

川上いきいき交流館川上デイサービスセンター



防火防災安全知識の習得と消火器を使った消火訓練を行いました。

講師の高梁市消防本部予防課職員からは、寒い季節のお風呂でのヒートショックの予防対策や急病時にはためらわず119番をすること、また、住宅用火災警報器の適切な設置についてや、緊急医療情報キットの重要性などの講話がありました。

参加者からは、「これから乾燥して火事が発生しやすい時期になり暖房器具を使う機会が増えるので、火事や事故に注意して元気に過ごしたい」「普段から周囲の環境を整えることで身を守る」との声もあり、防火や防災の認識を深めました。

シルバー人材センターの価格改定について

平素よりシルバー人材センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。
 令和2年4月1日から、シルバー人材センターの価格を改定させていただきます。
 また、併せて事務費を5%から10%に変更させていただきます。
 皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。



主な作業の1時間当たりの単価(事務費、材料費、機材代等を除く)

作業内容	改正後	改正前
草刈り作業	1,100円	1,000円
草取り作業	900円	800円
屋内清掃作業	900円	800円
剪定作業	1,300円	1,200円
墓掃除	900円	800円

※令和2年4月1日から実施する作業に適用します。
 ※墓掃除については、1件あたり基本料金1,500円が別途必要

詳細は、高梁市社会福祉協議会地域福祉課または各支所へお問い合わせください。また、高梁市社会福祉協議会のホームページ (<http://www.takahashi-shakyo.org/>) にも各作業の単価を掲載していますので御覧ください。



草刈り作業の様子

第2次地域福祉活動計画について

地域福祉活動計画とは、地域住民や地域において福祉活動を行う関係者、各種ボランティア・NPO、さらには保健・医療・福祉の専門機関等が相互に協力して策定する社会福祉協議会の行動計画で、高梁市社会福祉協議会の地域福祉推進の基本となる計画です。

11月8日に社会福祉委員会を開催し、第2次地域福祉活動計画の進捗状況や新年度に向けての事業の改正点等について協議しました。なお、今年度中の計画の見直しはありません。



福祉センターに季節の彩りを

12月2日、岡山県立高梁城南高等学校環境科学科3年生の7名が、高梁総合福祉センターの掲示板や自動ドアに季節感たっぷり飾り付けを行いました。

これは、3年生の課題研究のテーマの一つとして市内の福祉関係施設等を対象に実施したもので、福祉センターのイメージに合うものを考えて作業を進めてくださいました。



福祉委員の選出について

市社協では、住民の皆さんが安心して暮らせるよう、各町内会で見守りや声かけ活動を行う福祉委員の選出をお願いしています。

令和2年度についても、各町内会より福祉委員を選出いただき、福祉委員選出届を提出していただきますようお願いいたします。なお、福祉委員を交代される場合は、お渡ししている福祉委員証をご返却いただきますようお願いいたします。

☆福祉委員選出届の提出および福祉委員証の返却先

◆市社協地域福祉課および各支所 ◆各地域市民センター



高梁市社会福祉協議会
福祉委員連絡協議会
会長 丹治 勇さん

高梁市生活あんしんサポートセンター

市社協では経済的問題、健康問題、家庭問題などさまざまな問題を抱えている方々の相談に応じ、必要な支援などを行うための相談支援窓口「高梁市生活あんしんサポートセンター」を開設しております。

相談日などは次のとおりです。

場 所：高梁総合福祉センター

☎ 22-9111 (直通) FAX 22-0845

相談日時：月曜日から金曜日 午前9時から午後5時まで

休業日：土・日・祝日 年末年始



ふれあい相談

あらゆる心配事について相談に応じます。



※随時相談に応じます。
毎週月～金曜日（祝日を除く）
午前8時30分～午後5時15分

また、プライバシーは完全に守られます。お気軽にどうぞ。

お知らせについての問い合わせ先

有漢支所 ☎57-3218
川上支所 ☎48-9770

地域福祉課・相談支援課 ☎22-7243

成羽支所 ☎42-2005
備中支所 ☎45-3131

社会福祉協議会へのご寄附

ありがとうございました。

令和元年
11月～12月

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ令和元年11月と12月にいただいたご寄附についてお知らせします。
心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。
なお、金額等については寄附者の意向によって掲載しています。(敬称略)



【香典・玉串料・御花料返し】

《高梁支会》

- 金一封 落合町 奥田 昭子 (故・利夫様)
- 金一封 津川町 小野 和美 (故・勲様)
- 金一封 総社市 片岡 忠義 (故・武夫様)
- 金一封 川面町 立野 順史 (故・艶子様)
- 金一封 巨瀬町 岡本 悦子 (故・弘様)
- 金一封 中井町 井上 正義 (故・毅様)
- 金一封 川面町 野口 修 (故・芳子様)
- 金一封 落合町 森下 哲男 (故・ヨネコ様)
- 金一封 落合町 美旗 透 (故・玉子様)
- 金一封 中井町 吉田 正人 (故・吉田基雄様)
- 金一封 奥万田町 三村 海土 (故・卓巳様)

《高梁地区》

金一封 奥万田町 柏原 憲司 (故・淑様)

金一封 上谷町 小見山悦子 (故・富夫様)

金一封 南町 西 光彦 (故・信一郎様)

金一封 鳥取県 山崎 誠 (故・井上二三様)

金一封 鍛冶町 東田三重子 (故・忠實様)

金一封 落合町 大屋 隆一 (故・壽夫様)

金一封 高倉町 平松 美江 (故・壽郎様)

《津川地区》

金一封 津川町 小野 和美 (故・勲様)

《川面地区》

金一封 川面町 立野 順史 (故・艶子様)

金一封 川面町 野口 修 (故・芳子様)

《巨瀬地区》

金一封 巨瀬町 岡本 悦子 (故・弘様)

金一封 巨瀬町 吉藤 俊介 (故・勉様)

《中井地区》

金一封 中井町 井上 正義 (故・毅様)

金一封 中井町 吉田 正人 (故・吉田基雄様)

《落合地区》

金一封 落合町 奥田 昭子 (故・利夫様)

金一封 落合町 森下 哲男 (故・ヨネコ様)

金一封 落合町 美旗 透 (故・玉子様)

《有漢支会》

金一封 上有漢 片山 勉 (故・八重子様)

金一封 岡山市 新山稲葉美 (故・岩原富美子様)

金一封 有漢 平松とよ子 (故・秀夫様)

金一封 有漢 宮本 桂吾 (故・幸子様)

《成羽支会》

金一封 相坂 小林 育治 (故・輝男様)

金一封 佐々木 中川 陽介 (故・定恵様)

金一封 坂本 入江 嘉雄 (故・智枝様)

金一封 小泉 川上 康晴 (故・健一様)

金一封 (香典返しとして) 匿 名

金一封 成羽 清迫 裕子 (故・勇男様)

金一封 下原 高森 博行 (故・笑子様)

金一封 下原 吉岡 稔貴 (故・敏子様)

《川上支会》

金一封 三 沢 深田 啓治

(故・千代子様)

金一封 仁 賀 三宅 格己

(故・金子米子様)

金一封 地 頭 川上 泰弘

(故・章様)

金一封 仁 賀 三宅 諭

(故・誠子様)

金一封 仁 賀 山室 尊則

(故・昭江様)

《備中支会》

金一封 成羽町 匿 名

(香典返しとして)

金一封 西 山 杉 明

(故・里枝様)

金一封 西油野 村上 英己

(故・マサ子様)

金一封 西油野 小林 秋子

(故・米夫様)

金一封 布 瀬 古米 一人

(故・ヒデ子様)

《一般寄附》

金一封 中井町 岩本 公男

(退院内祝いとして)

《高梁支会》

金一封 中井町 岩本 公男

(退院内祝いとして)

《高梁地区》

金一封 匿 名

(社会奉仕として)

第426回、第427回目

《中井地区》

金一封 中井町 岩本 公男

(退院内祝いとして)

《有漢支会》

金一封 有 漢 富士田 肇

(一般寄附として)

《成羽支会》

金一封 成 羽 平松 綾子

(100才のお祝い返しとして)

《川上支会》

金一封 下大竹 吉田 裕子

(退院内祝いとして)

金一封 下大竹 三宅 美雄

(退院内祝いとして)

《備中支会》

金一封 西油野 細川 保

(退院内祝いとして)



編集後記

明けましておめでとうございます。新年も半月が経過しましたが、冬本番の寒さと年末年始のお疲れで、風邪など召されていないでしょうか。

さて、今号では、ふれあいサロンリーダー研修会について掲載しております。『ふれあいサロン』は、誰でも気軽に参加できる地域のふれあいの場の一つとして、平成20年度から推進しており、現在132団体(内子育てサロン2団体)が活動されています。

この研修会は、各サロンを中心的に運営されている代表者の方に参加していただきましたが、活動のマンネリ化や参加人数の減少、後継者不足といった悩みを抱えているサロンもあります。

しかし、講師の田川氏によると、「サロンを支える皆さんが頑張りすぎず楽しむことが大切」との話もあり、少しでも肩の力が抜けて、これからは楽しんでサロンを続けていくきっかけになればうれしく思います。

ふれあいサロンに限らず、地域福祉活動に取り組まれている全ての方へ感謝の気持ちをもちながら、この広報誌でも、地域で頑張る姿や最新の福祉情報をお伝えしていきますので、本年もよろしくお願いたします。(S)



この広報紙は、賛助会員会費および寄附金の一部を活用して発行しています